

R18

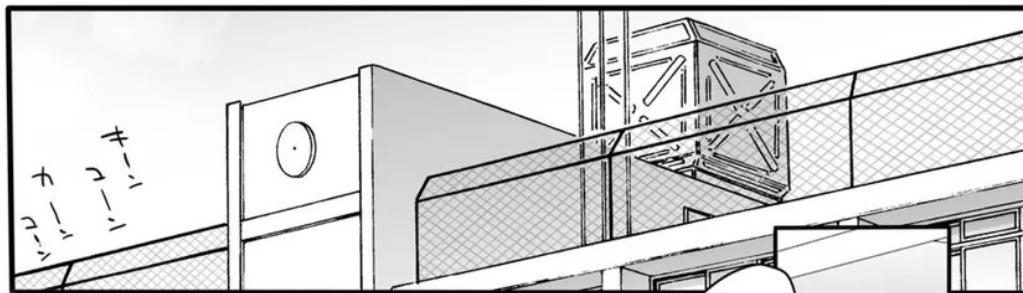
FOR
ADULT
ONLY

とある淫癖
地方の淫癖



とある
地方の淫習

CHRONOLOG + D・N・A・L a b . 2 0 2 5 0 8 1 7



キーン
コーン
カーン

かみしろ
神代さくら



今日
ひさしぶりに
どっか寄って
帰らない？

ごめんなさい
もうすぐ
お祭りだから
わたしも準備が
あって…

えー
お祭り?!
すごーい!
行きたーい!

そっか
お家神社って
言ってた
もんね

出店とかも
呼んでない
集落だけなの
小さいから…
だから…



じやあ
あー
ニギハヤヒ

わー
車でお迎え
きてる

神代さんちって
けっこう
遠いって
言ってたもんね

バスの本数も
あんまりないって
言ってたよ

お祭りの
準備って
何するんだろ？

か…飾り付け
とか…？

…今度行われる
祭祀は

七奈緒
ななお

もう終わって
いいぞ

は…
はい…

先代の
巫女だった母が
夭折したため

長いあいだ
できなかつた
儀式だったのだ
けれど

凶事が
重なったこともあり

わたしの成人を
待たずに
行うこと
になりました

わたしはまだ
作法も
わからないので

ありがとうございます
ございます

水行うまく
なったよなあ

最初は
溺れそうに
なっていたし

ほら
あったかいの
飲んどけ

ほふ

いっばい
覚えな
いとい
けない
こと
があつ
て

集落のみんなに
サポートして
もらっているの
ですが…

あ…
すみません

ちょっと
休憩したら今日も
儀式の仕込みを
するからな

……っ
はい…



神様を
巫女の体に
降して

神様と民の
交合をするのが
目的の儀式だから

儀式を
円滑に進める
ために

ああ
冷えちゃって
かわいそうに

あ…

夏だけど
さすがに滝は
冷たいから…

男の人と…
交わりやすい
からだに…つい

するん
だって…

あの…
やっぱり…っ

すぐ
あっためて
やるからな〜w

でも…っ

手…
すっごく熱く
感じる…

小さな集落で
家族同然の人たちと
こんなこと

おかしい
よね……？

あ……

…全員
揃ったな

今年から
七奈緒が巫女を
務めてくれる

この集落のために
なるならと
了承してくれたんだ
感謝するようにな

ここに
いる
集落の
男の人全員と…

七奈緒ちゃん
不安かい？

大丈夫だよ
よく知ってる奴しか
いないだろ？

優しく
するからねえ

覚悟してたけど
やっぱり怖い…っ

さあ
はじめましょう

神に
感謝の心を持って
奉納するのです





なあに
何も怖いことは
ないさ

練習したん
だろ？

七奈緒ちゃんなら
ちよつとぐらい
痛くしたって
怒りゃしないよ

：村落を
お守りいただけ
るよう神と契るの
が目的の儀式です



おっ…

なにより
わたしたちの神は

これを
お喜びになるの
だと



ん…



やわこい
手だな

ほら
しゃぶって
みてくれよ

はい…

この決して
便利とはいえない
土地で

無事に暮らして
いけるのは
神様のおかげと
聞いて育ちました

あーヤバイ
すぐ射精ちやいそ…

なかに
意味ないんだから
無駄打ちするなよ
w

それに集落には
わたしのほかに
女の子が
いなかったから…

おっ
巫女用の
エロ下着

こっちも
しゃぶって
七奈緒ちゃん

こっちも

みんな…わたしが
巫女になるのは
当然だと思っ
ていて

こんなすぐ
ずらせる
下着だとさ…

おっぱい全然
守れないね

乳首ぎゅーっと
されるの
好きなのかな？

そこに…わたしの
意思なんて…っ



お
ちゃんともう
濡らしたるわ

み…みないで
くださ…

なんも
恥ずかしい事
ねえよお

七奈緒の
母さんもそう
だったしなあ

集落の男の人
みんなに

こんなところ
見られるの…
恥ずかしい…

そうそう
母娘そろって
いい巫女だねえ

これから…っ
みんなの
おちんちん…

挿入れて…

ちゃんと
射精して
もらわないと

ビクビク
しちやっつて
かわいいなあ

乳首も
ピンッピンに
して…

終わらないん
だ…

いっぱい
気持ちよくなって
神様に満足して
もらおうねえ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

あ
あ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

んっ
んっ

入口が
どうしても
キツそうだ
なあ...

潤滑剤
用意してある
だろ

七奈緒ちゃんに
痛い思いは
させたくないから
ねえ

あ
なに...?
ぬるぬるする...



お...
いけそう...

ゆ...指と
全然違う...

最初は
ゆっくり
動くからねえ

よーし
がんばった
なあ





もう何度も何度もイカされてるのに…

奉納は
夜通し行わないといけないって

けど…
このままじゃ

からま
てるや

わたしが

わたしじゃ
なくなると
みたくないで

あ…
すごいな
抜き差しするたび
汁が噴き出し
ちやって…

これだけ
みんな
射精してりや
なあ



七奈緒
よく頑張ったなあ

お前さんのおかげで
ここの暮らしも
きつとよくなる

はー...
見てみる
よう晴れとるわ

神様もきつと
お喜びになったんじゃ
ないか?

はー...
...そっか

それなら...
よかった...
な...

ねーねー
お祭り
どうだった?



ちよつと休んでたのつてお祭りあつたからかなつて

うん…ちよつと疲れちやつたみたいで…

わつおつかれさまだ

そうだ神代さん

休んでるあいだに進路調査票出てたよ



神代さんは成績いいから行きたいところ

わたし前の面談で成績ぜんぜん足りないつて言われたんだよねえ

…進路…

着たい制服で学校選ぶからでしょ

あつ指定校推薦とか取れそう

全然考えられないな

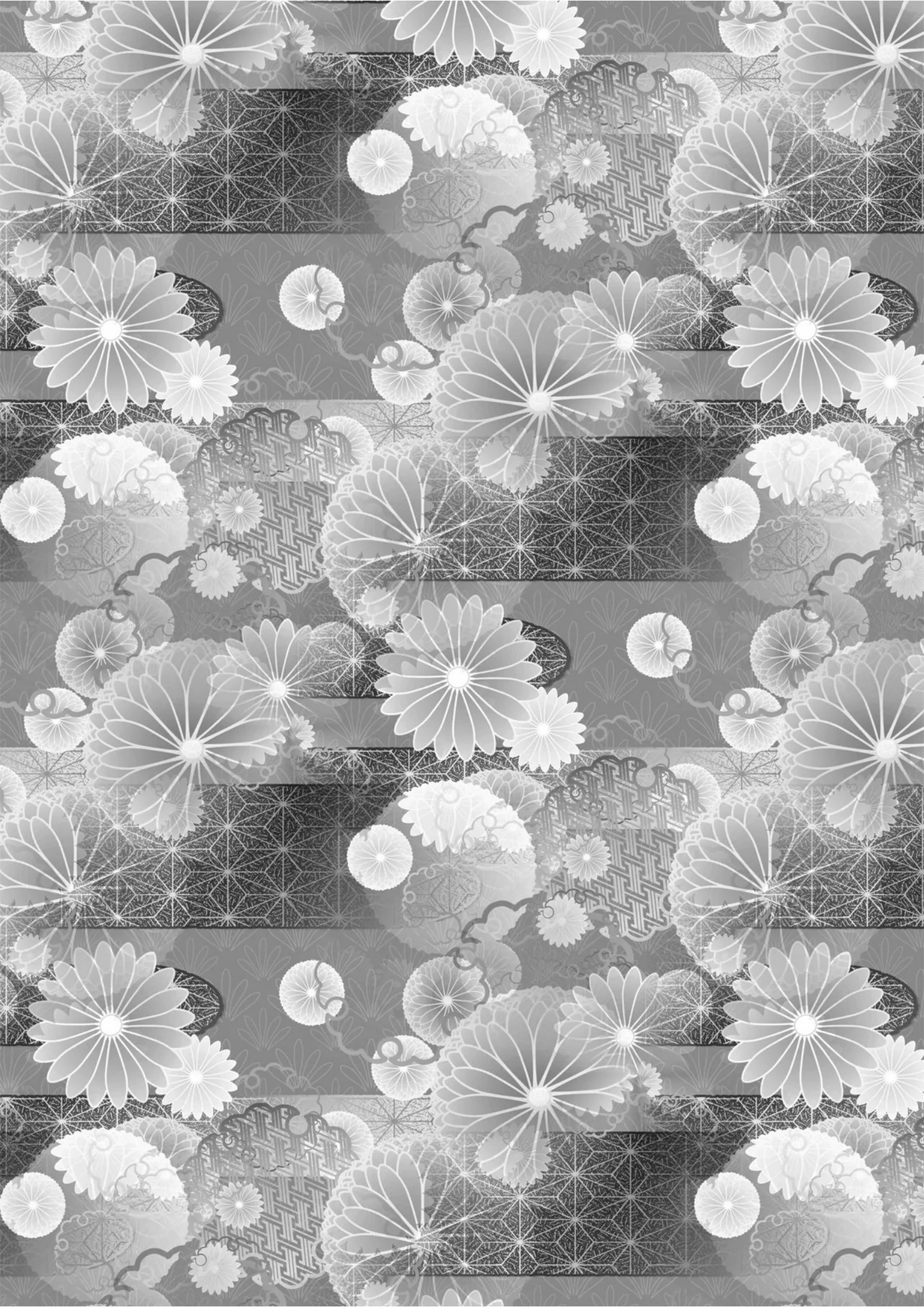
そんなことないよ…



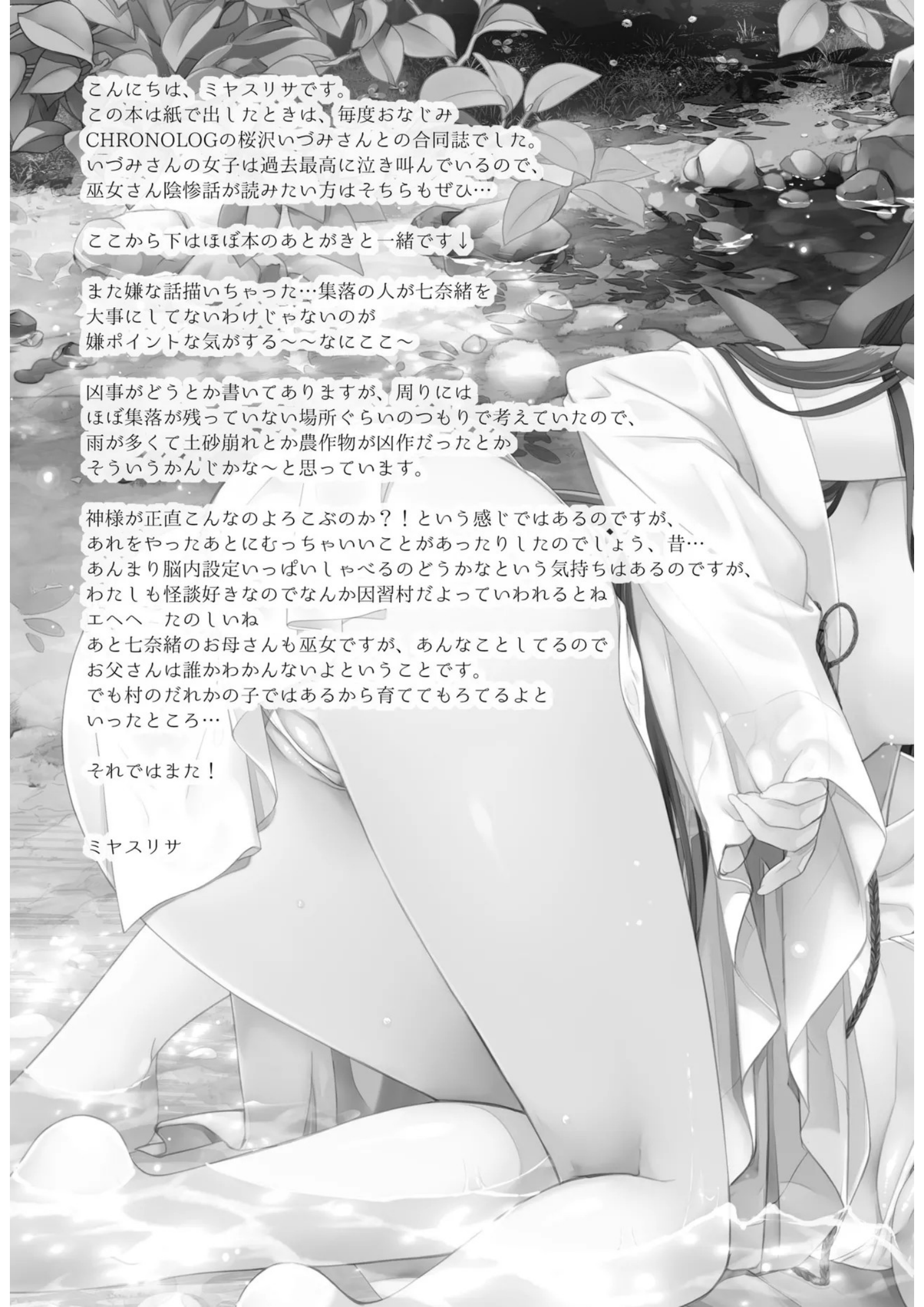
どこにきつと行くつとして

わたしは

あそこからは出られない







こんにちは、ミヤスリサです。
この本は紙で出したときは、毎度おなじみ
CHRONOLOGの桜沢いづみさんとの合同誌でした。
いづみさんの女子は過去最高に泣き叫んでいるので、
巫女さん陰惨話が読みたい方はそちらもぜひ…

ここから下はほぼ本のあとがきと一緒にです↓

また嫌な話描いちゃった…集落の人が七奈緒を
大事にしてないわけじゃないのが
嫌ポイントな気がする～～なにここ～

凶事がどうか書いてありますが、周りには
ほぼ集落が残っていない場所ぐらいのつもりで考えていたので、
雨が多くて土砂崩れとか農作物が凶作だったとか
そういうかんじかな～と思っています。

神様が正直こんなよろこぶのか?!という感じではあるのですが、
あれをやったあとにむっちゃいいことがあったりしたのでしょう、昔…
あんまり脳内設定いっぱいしゃべるのどうかなという気持ちはあるのですが、
わたしも怪談好きなのでなんか因習村だよっていわれるとね
エへへ たのしいね
あと七奈緒のお母さんも巫女ですが、あんなことしてるので
お父さんは誰かわかんないよということです。
でも村のだれかの子ではあるから育ててもらてるよと
いったところ…

それではまた!

ミヤスリサ

[とある地方の淫習]

2025/08/17

D・N・A・Lab. / ミヤスリサ

miyarisan@nifty.com

<http://dnalab.weblog.to/>

X:Risaly_

※無断転載、複製、アップロードを禁じます。※

※本書は18禁です。18歳未満の方、及び高校在学中の方への頒布は禁止です。※

七奈緒ちゃん

今年の祭りから
うちの倅も
参加できる年
になったから

作法を
教えてやって
くれるかい

あれからもずっと
わたしは

この神社の
巫女です

はっ

な...っ
七奈緒ちゃんが...っ

こんなこと
してくれる
なんて...っ

だから

ここの神様の
望むように

うあ...っ

きもちさら...っ





とある淫習
地方の淫習
後日譚

CHRONOLOG + D · N · A · L a b . 2 0 2 5 0 9 0 7



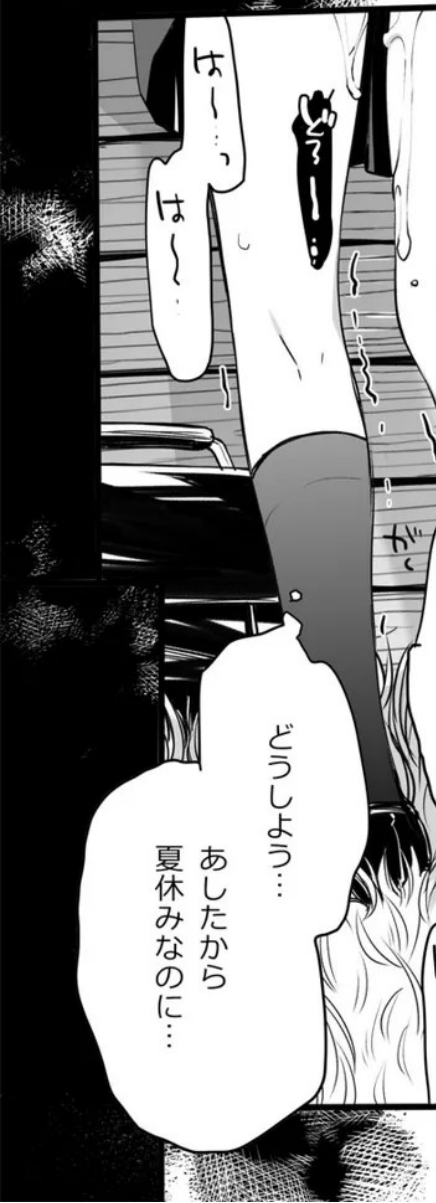
「参拝に来て
もらっているような
ものなのだから」

巫女として
快く迎えるようにと
神主さんには
言われていますが



安心できる場所が
学校だけに
なっちゃった…

あしたから
夏休みののに…



おはよう
七奈緒ちゃん
朝からお掃除かい

お：おはよう
ございます

か：神主さんが
夏休みの間は
やるようになって…

じゃあ朝
ここに来たら
つかまるって
わけだ

神主も
気が利くねえ

ああ…っ
また…

みんな当然みたい
にわたしに挿れて
くるのが…っ

ああ…
やっぱりいいねえ

七奈緒ちゃんの
オマンコ…

おかしいって
わかってるのに
きもちよくて…っ



ま…待って
ください

こんな
ところで…っ

やだあ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

あ…あ…

だって
あんなにイカされ
続けたら…っ

あま…

お…
締まる…っ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ

アッッッ





いき方…っ

覚えちゃう…

ほたほた

去年まではみんなとおなじ
ふつうのなつやすみ
だったのに

七奈緒

宿題やってんの？
わかんないところ
見てやろうか

あ…

ばあちゃんが
うちのスイカ
巫女さんに
食わしてやれっさ

冷やして食おうぜ

でももう

みんながわたしを
お世話してくれる
理由が

わかって
しまったから

うわ：
すごい量だな

はー
はー

七奈緒ちゃん
ありがとうねえ

ご飯買ってきたから
食べな

えー俺もう
勃ってんのに

馬鹿
さすがに
休ませてやれ

はい...

なつやすみじゅう
こんなに
精液出されたら...

ぜったい赤ちゃん
できちゃう...

あー

あー

卒業
するまでに

おなか
おおきくならないと
いいな...



こんにちはミヤスリサです。
夏の本の追加コンテンツというアレです。
なんか悲しくなっちゃった(自分で描いて)
女の子を集落のコミュニケーションツールに使うな〜っ
火を放で〜っ

しかし七奈緒の妥協力がものすごくて
むっちゃ集落の人口を増やす可能性もある
多分あそこのメンズは愛情はあるんだろな
いかれてるだけで…

でもなんかいかれた地域の話おもしろかたっただす
またやりたいな 陰惨ですけど…へへ

それでは!またお会いできると嬉しいです!

ミヤスリサ

[とある地方の淫習 -後日譚-]

2025/09/07

D・N・A・Lab. / ミヤスリサ

miyartisan@nifty.com

<http://dnalab.weblog.to/>

X:Risaly_

※無断転載、複製、アップロードを禁じます。※

※本書は18禁です。18歳未満の方、及び高校在学中の方への頒布は禁止です。※